

再 評 価 調 書

I 事業概要					
事業名	交通安全対策事業（交差点改良事業）				
地区名	一般県道 ^{はるきくつかけせん} 春木沓掛線				
事業箇所	豊明市 ^{とよあけし} 沓掛町				
事業のあらまし	<p>一般県道^{はるきくつかけせん}春木沓掛線は、名古屋市^{なごやし}東部から豊明市^{とよあけし}を経由して刈谷市^{かりやし}までを結ぶ都市間幹線道路である。都市間を結ぶことから通過交通が多い。</p> <p>また沓掛小学校南交差点において市道と交差しているが、県道側には右折車線が設置されておらず、朝夕を中心に著しい渋滞を引き起こしている。そこで、交差点改良により右折帯を設置するとともに歩道を設置して、交通の円滑化と交通事故の危険解消を図る。</p>				
事業目標	<p>【達成（主要）目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通の円滑化 ・交通死傷事故の削減 <p>【副次目標】（必要に応じて記載する）</p> <p>—</p>				
計画変更の推移		事前評価時 (2018年度)	再評価時 (2023年度)	変動要因の分析	
	事業期間	2018年度～2023年度	2018年度～2026年度	用地交渉の難航によるもの	
	事業費（億円）	1.2	1.2	—	
	経費内訳	工事費	0.6	0.6	—
		用補費	0.3	0.3	—
その他		0.3	0.3	—	
事業内容	交差点改良工事 延長 L=200m 幅員 W=13.0m	交差点改良工事 延長 L=200m 幅員 W=13.0m	変更なし		
II 評価					
①事業の必要性の変化	1) 必要性の変化	<p>【事前評価時の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当該交差点は右折車線が設置されていないことから、朝夕を中心に渋滞を引き起こしている箇所であるとともに、交通事故も発生している箇所である。 ・当該交差点は交通事故が2件(H27～H30)発生している。 ・自動車交通量については、28217台/日(H27 センサス) <p>【再評価時の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当該交差点は交通事故が1件(H30～R03)発生している。事前評価時より、事故件数は減少しているが、事故が発生していることに変わりはない。 ・自動車交通量については、27232台/日(R3 センサス)。事前評価と大きな変動はない。 <p>【変動要因の分析】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・周辺状況、交通量・事故状況等に大きな変動はなく、引き続き交通事故の危険解消と交通の円滑化を図る必要がある。 			

判定	B	<p>A： 事業着手時に比べ必要性が増大している。</p> <p>B： 事業着手時に比べ必要性にほとんど変化がない。</p> <p>C： 事業着手時に比べ必要性が著しく低下している。</p> <p>※事業着手時と比較することが適当ではないと判断される場合は、「事業着手時」を「前回評価時」に置き換えることができる。</p>																																																																																																																		
	<p>【理由】</p> <p>周辺環境に変化がないため。</p>																																																																																																																			
②事業の進捗状況及び見込み	1) 進捗状況	<p>【事業計画及び実績】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>2018</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> <th>2023</th> <th>2024</th> <th>2025</th> <th>2026</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">工種区分</td> <td>調査・設計</td> <td>←</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>→</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>用地補償</td> <td></td> <td></td> <td>←</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>→</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>工事</td> <td></td> <td></td> <td>←</td> <td></td> <td>→</td> <td></td> <td></td> <td>←</td> <td>→</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">事業費(億円)</td> <td>前回計画</td> <td colspan="3">0.9</td> <td colspan="3">0.3</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td colspan="3">0.8</td> <td colspan="3"></td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>今回計画</td> <td colspan="3">0.8</td> <td colspan="3"></td> <td colspan="3">0.4</td> </tr> </tbody> </table> <p>【進捗率】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">これまでの計画に対する達成状況</th> <th colspan="2">全体進捗率</th> </tr> <tr> <th>計画【①】</th> <th>実績【②】</th> <th>達成率(%)【②÷①】</th> <th>計画【③】</th> <th>達成率(%)【②÷③】</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>延長(km)</td> <td>0.1</td> <td>0.1</td> <td>100</td> <td>0.2</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td>事業費(億円)</td> <td>0.9</td> <td>0.8</td> <td>89</td> <td>1.2</td> <td>75</td> </tr> <tr> <td> 工事費</td> <td>0.3</td> <td>0.3</td> <td>100</td> <td>0.6</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td> 用補費</td> <td>0.3</td> <td>0.2</td> <td>67</td> <td>0.3</td> <td>67</td> </tr> <tr> <td> その他</td> <td>0.3</td> <td>0.3</td> <td>100</td> <td>0.3</td> <td>100</td> </tr> </tbody> </table> <p>【施工済みの内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和3年度・令和4年度に一部施工済み。 			2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	工種区分	調査・設計	←				→					用地補償			←				→			工事			←		→			←	→	事業費(億円)	前回計画	0.9			0.3						実績	0.8									今回計画	0.8						0.4				これまでの計画に対する達成状況			全体進捗率		計画【①】	実績【②】	達成率(%)【②÷①】	計画【③】	達成率(%)【②÷③】	延長(km)	0.1	0.1	100	0.2	50	事業費(億円)	0.9	0.8	89	1.2	75	工事費	0.3	0.3	100	0.6	50	用補費	0.3	0.2	67	0.3	67	その他	0.3	0.3	100	0.3	100
			2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026																																																																																																									
	工種区分	調査・設計	←				→																																																																																																													
		用地補償			←				→																																																																																																											
工事				←		→			←	→																																																																																																										
事業費(億円)	前回計画	0.9			0.3																																																																																																															
	実績	0.8																																																																																																																		
	今回計画	0.8						0.4																																																																																																												
	これまでの計画に対する達成状況			全体進捗率																																																																																																																
	計画【①】	実績【②】	達成率(%)【②÷①】	計画【③】	達成率(%)【②÷③】																																																																																																															
延長(km)	0.1	0.1	100	0.2	50																																																																																																															
事業費(億円)	0.9	0.8	89	1.2	75																																																																																																															
工事費	0.3	0.3	100	0.6	50																																																																																																															
用補費	0.3	0.2	67	0.3	67																																																																																																															
その他	0.3	0.3	100	0.3	100																																																																																																															
2) 未着手又は長期化の理由	<ul style="list-style-type: none"> 補償内容や代替地の選定などの用地交渉に時間を要し、事業が長期化している。 																																																																																																																			
3) 今後の事業進捗の見込み	<p>【阻害要因】</p> <ul style="list-style-type: none"> 用地買収 <p>【今後の見込み】</p> <ul style="list-style-type: none"> 補償内容や代替地の選定などの用地交渉に時間を要しているが、引き続き交渉を進め、2026年度までに整備完了を目指す。 																																																																																																																			
判定	B	<p>A： これまで事業は順調であり、引き続き計画通り確実な完成が見込まれる。</p> <p>B： 次のいずれか（該当する項目に「○印」を付ける）</p> <ul style="list-style-type: none"> これまで事業は順調である。今後は多少の阻害要因が見込まれるものの、一定の期間等を要すれば、解決できる見通しがあり、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。 これまで事業が長期化していたが、事業期間を延長したことにより、今後は阻害要因がなく、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。 ○これまで事業長期化により、事業期間を延長した。今後も多少の阻害要因が見込まれるが、一定の期間等を要すれば、解決できる見通しがあり、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。 <p>C： 阻害要因の解決が困難で、現時点では、事業進捗の目処がたたない。</p>																																																																																																																		
<p>【理由】 用地買収に時間を要しているが、引き続き交渉を進めることで、事業の完了が見込</p>																																																																																																																				

	まれるため。
Ⅲ 対応方針	
継続	中止：上記①～③の評価で一つでもC判定があるもの。 継続：上記以外のもの。
Ⅳ 事後評価実施の有無と主な評価内容	
<p>■対象（事業完了後5年目） □対象外</p> <p>【事業完了後5年を越えて実施する理由・対象外の理由】</p> <p>-</p> <p>【主な評価内容】</p> <p>事業実施前後の交通状況及び事故状況の変化。</p>	